



2024年6月27日

各位

会社名 株式会社くろがね工作所  
代表者名 代表取締役社長 田中 成典  
(コード: 7997、東証スタンダード)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 森 吉武  
(TEL. 06-6538-1010)

## 2024年11月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年1月15日に公表いたしました2024年11月期第2四半期累計期間(2023年12月1日~2024年5月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

### 1. 業績予想の修正について

(1) 2024年11月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正(2023年12月1日~2024年5月31日)

(連結業績)

単位: 百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	3,670	0	20	15	8円81銭
今回修正予想(B)	4,021	95	117	86	50円49銭
増減額(B-A)	351	95	97	71	
増減率(%)	9.6	-	485.0	473.3	
(参考)前期第2四半期実績 (2023年11月期第2四半期)	3,808	28	△2	340	199円80銭

(個別業績)

単位: 百万円

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	3,660	10	5	2円94銭
今回修正予想(B)	4,019	127	92	54円01銭
増減額(B-A)	359	117	87	
増減率(%)	9.8	1,170.0	1,740.0	
(参考)前期第2四半期実績 (2023年11月期第2四半期)	3,794	△2	342	201円12銭

### (2) 修正の理由

前連結会計年度において納入期限延期になった大型案件の納入が進捗したことに加え、首都圏における新規の引き合い、受注件数が伸長したことにより、物流施設向け等の特注品の受注が拡大しました。また、建築付帯設備機器における受注後納入完了までに長期間を要する案件における価格転嫁には課題を残しておりますが、前連結会計年度において物件毎の収支見積もりの厳格化により受注工事損失引当金を計上したことや、新規受注案件における価格転嫁が進捗してきたことにより売上総利益率が改善方向にあります。これらにより売上高及び売上総利益については、当初計画を上回る状況で推移しました。また、販売費及び一般管理費につきましても、カタログの発刊による広告宣伝費の増加等により前年同四半期と比較して増加しましたが、当初計画を下回る状況で推移したことにより、公表予測と比較して営業利益が前回

予想を上回りました。その結果、経常利益及び四半期純利益もそれぞれ前回予想を上回る見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、下半期の受注及び納入完了予定時期の状況等について精査中であるため、2024年1月15日の公表値を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

以 上